



照明普及会だより

第9号

発行・社団法人照明学会・照明普及会

〒100 東京都千代田区有楽町1-7-1
有楽町電気ビル 北館5F
平成2年12月



あかりの日街頭キャンペーン
東京・有楽町電気ビル前

東京地区普及活動状況

近年、女性の活躍が各分野で話題を提供しているなか、照明学会東京支部は、さる10月26日（金）に「女性の企画した」とサブテーマのつく技術セミナー「インテリアのライティングデザイン入門」を開催した。

「女性の企画した」とサブテーマがついているのは、女性委員で構成されている照明文化セミナー企画委員会に企画していただいたためであるが、この委員会の企画は、従来にはなかった新しい視点が強調されたものとなった。

その第1点は、個々の光源の技術的知識や照明計算をできるだけ抑えて、光の持っている効果を中心にライティングデザインを考えたことである。

第2点は、ライティングデザインの問題の明るさ、色彩、テクスチャー、照明器具、の側面から取り上げたことである。

こうした明確な視点による内容構成は、これから活躍が期待される若手のコーディネーター・デザイナーの方々にとって、文字通り「ライティングデザイン入門」となると思われた。

前半のパネルディスカッションでは、照明デザイナー・プランナーとして著名な女性5名と照明メーカーの技術者3名（男性）により、先に挙げた4つの側面からみた照明による空間デザインについて活発な意見交換がなされた。パネラーの体験に基づくテクスチャーによる照明効果の違いや照明器具の選び方、失敗談などには、セミナー参加者の中からも現在の仕事に関連した質問が次々となされ、照明による空間デザインがインテリアの現場で注目を集め

ていることが窺われた。

また、後半の「光源」「住宅における照明効果」に関する講演は、それぞれ少ない持ち時間の中で照明の基礎的事項が簡潔にまとめられており、ランプ実物の回覧、照明効果実験のスライドなどといった効果的な教材を用いていたこともあって、会場内では熱心にメモをとる姿が多く見受けられ、照明の入門者にとって印象的な内容となったようである。

このセミナーを通じて感じたことは、インテリアの分野での照明デザインは、既に重要な要素となっているということである。

しかしながら、質疑応答の中で、インテリアに携わる人々が照明デザインについて本格的に学べる機会や機関が少ないため、現場体験から学ぶしかないなどの声も聞かれ、照明学会の通信教育である「照明実務講座」の知名度は、インテリア関係者の間ではいまだ低いことが感じられた。

今回のセミナーには定員以上の申し込みがあったとのことで、テーマがまさに時代のニーズに応えた感がある。さらに、機会をつくって第2弾を開催したい旨も事務局より発表された。これを機会に、インテリアの分野および女性の視点を活かした継続的な普及活動を期待する。

最後に、「女性が企画した」とのサブテーマがあったためか、学会のセミナーには珍しく参加者の大多数を女性が占め、会場の電力館ホールが最後まで大変華やかで活気があったことをご報告しておく。

（東京地区 館野）

平成2年照明普及賞の応募要項

平成2年照明普及賞の応募を下記のとおりといたします。

①照明普及賞は『優秀照明施設賞』および『照明普及功労賞』の2賞に別れ、それぞれ別の推薦用紙にてご応募下さい。

②受賞候補者は、照明普及会維持員の推薦のあったものに限る、但し、自薦は除きます。（注：照明学会賛助会員は推薦者にはなれません。）

③『優秀照明施設賞』の推薦の範囲は下記のとおり。

(a)優秀な照明施設の企画、設計、施工、完成などに功績のあった個人、法人、グループ。

(b)施設は平成2年1月1日～12月31日までに竣工したものの。

(c)施設は電気設備技術基準、消防法など関連法令に適合していること。

(d)推薦は1施設1件を原則し、対象箇所（複数でも可）を明記すること。

④『照明普及功労賞』の推薦の範囲は下記のとおり。
○照明普及に永年にわたり特に貢献した個人または団体。（ただし、一度表彰をされたものは、特別な場合を除き再度の推薦は行わない。）

⑤受賞候補の推薦は、照明普及賞推薦書の書式により平成3年1月31日までに、全国九地区の照明普及会窓口へ提出。

⑥お問い合わせ、推薦書類の請求は、下記まで。

〒100 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル(社)照明学会 照明普及会 照明普及賞係まで)
電話 03-201-0645・5953（平成3年以降は

03-3201-0645・5953に変更になります）

北陸地区普及活動状況

1. 「ライトアップ・レポート<北陸>」等の発行

近年、急速に広がったライトアップの波で、これまで暗い印象の強かった北陸の夜も美しく変わりつつある。

照明学会北陸支部では、講演会や見学会などを通じて都市景観照明の普及、PRに努めてきたが、先般、今までに施設された事例を集めた「ライトアップレポート<北陸>」を発行した。

写真とデータが掲載されている同事例集は、さらに多くの自治体や地域の方々にライトアップへの認識を深めていただくため、有効に活用されている。

他に、支部機関紙「照明北陸No.77」や普及会及び支部の照明普及賞施設を紹介した「照明北陸優秀施設特集号」を発行し、支部会員に配布している。

2. 照明改善委員会活動

また、支部会員と有識者で組織する照明改善委員会では、今年度「ライトアップ効果の調査」をテーマに活動を進めている。

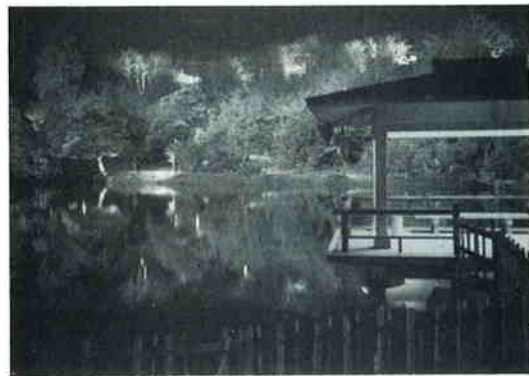
調査は、前述の事例集に掲載した20施設を対象に、独自の審査基準による評価と、住民、通行人へのアンケートによって、これまでイメージ的にしか把握されていなかったライトアップによる効果を定量的に分析しようとするものである。

結果は、年度内にまとめられる予定であるが、今後の普及の参考となる貴重なデータが得られるものと期待されている。

(北陸地区 吉村)



照明北陸優秀施設特集号



高岡古城公園「中之島周辺景観照明」

刊 行 物 紹 介

○照明教室68「照明のQ&A (I)」

(光源・照明器具編)



○ライトアップ'90「まちを彩るあかり」



あかりマップ

東芝科学館

東芝科学館は、昭和36年に開設されたもので、広く電気および電子分野の技術と人間とのかかわりあいを分り易く展示している。建物は東芝総合研究所の中に設けられた1階から3階までの延べ3,160㎡の広さの中に、動く展示、使う展示、参加する展示によって誰にでも面白く学べるよう工夫されている。

照明に関する展示は2階にあり、50,000Wのマンモス電球や、歴史的に由緒あるランプ類などとともに、照明実験もできる楽しいコーナーとなっている。



マンモスランプ

所在地	〒211 神奈川県川崎市幸区小向東芝町1番地
申込先 (問合せ先)	東芝科学館 予約受付係 ☎ 044 (511) 2300 F A X 044 (549) 2345
申込方法	電話・文書のいずれか
申込期日	6ヶ月前より
申込必要事項	1. 団体名 2. 見学希望日時 3. 人数(大人, 子供, 学生) 4. 見学当日の前後のスケジュール 5. 連絡先(代表者名, 電話番号, 住所)
開館時間	午前9時～午後5時
所要時間	約1時間(標準)
見学可能人数	1回につき大人約350名 (学生約550名)
案内	コンパニオンによる案内
休館日	土曜日, 日曜日, 祝日, 特定休館日 (土曜日は開館することあり。問い合わせ要)。
休憩・今事	160名(但し予約制)
駐場	大型バス20台
交通	J R川崎駅東 京急川崎駅下車 商店街(アゼリア)出口番号10番, または11番より…… 市営バス29番のりばから乗車, 約10分小向下車すぐ。 東急バス26番, 又は27番のりばから乗車, 約10分, 小向交番前下車すぐ。

部会委員会活動報告

(平成2年8月～11月)

- 8月7日 照明教室専門部会
 - 次号「店舗照明」(仮称)の目次案を検討した。
- 9月11日 照明普及会だより専門部会
 - 第8号の編集企画および執筆分担を決定した。(大要は東京・北陸地区活動報告, あかりマップなど)
- 9月13日 事業連絡会
 - 平成2年度の事業経過報告説明ならびに案件について審議した。また, 北海道電力の全電化住宅の見学を行なった。(北海道地区札幌市にて開催)
- 10月12日 あたらしい照明専門部会
 - 「街角で見かけた小さな光」特集号の編集および執筆分担を行なった。
- 10月25日 ライトアップ事例集作成専門部会
 - ライトアップ事例集のタイトル「ライトアップ'90—まちを彩るあかり—」を決定した。まえがきの検討を行なった。
- 11月5日 あたらしい照明専門部会
 - 「街角で見かけた小さな光」特集号の追加資料の執筆分担を行なった。
- 11月22日 企画推進委員会
 - 平成2年度の事業経過報告及び今後の事業の進行について審議した。